小39　鹿児島市立宇宿小学校

令和５年３月10日

令和４年度　学校評価　学校関係者評価書（３学期）

１　学校の重点目標

○　確かな学力の定着と向上	○　豊かな人間関係づくり
○　基本的生活習慣・学習習慣の確立	○　校区を挙げた教育活動の推進″

２　課題と解決策（４：とても思う　　３：思う　　２：あまり思わない　　１：思わない）

番号	評価項目	評定	補足・説明
１	子供たちは，楽しそうに生き生きと学習に取り組んでいる。	3.8	
２	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知られている。	3.2	
３	学力向上について，家庭学習の定着など家庭との連携が図られている。	3.2	
４	めざす子供の姿に向かって数値目標を設定し努力している。	3.5	
５	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	3.8	
６	思いやりの心を育む教育活動が計画的に位置付けてある。	3.5	
７	家庭や関係機関等の相談体制がとられている。	3.8	
８	子供たちの心身の健康について，一人一人の実態に応じた手だてをとっている。	3.4	
９	健康について，家庭や医療機関との連携を図っている。	3.5	
１０	子供たちの安全(登下校，自然災害時)について細心の注意をはらっている。	3.4	
１１	先生と子供との好ましい人間関係づくりがなされている。	3.7	
１２	先生方は，礼節をわきまえ，真摯に子供への教育に努めている。	3.8	
１３	学校は常に整理整頓，清掃がなされ，花や緑に囲まれている。	3.7	
１４	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検や補修等がなされている。	3.7	
１５	幼小，小中連携教育はそれぞれの実態を踏まえながら推進されている。	3.2	
１６	校長の学校経営方針は，保護者や地域にはっきりと伝わっている。	3.4	
１７	学校の児童の活動や学校行事等などの様子がよく伝わっている。	3.8	
１８	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	3.5	

○　その他，気づいたこと

- 下校後の過ごし方で危ないと感じることもあるが，学校で指導している「手を挙げての横断」が身に付きつつある。
- 朝のあいさつのときに立ち止まって元気よくあいさつする子供たちが何人もいるので，礼儀正しいなと感心する。
- 先生方の名前を覚える機会が少なくなってきている。
- 授業参観を通して，全体的に落ち着いていて児童も学習に楽しく取り組んでいる様子が伝わってきた。

３　次年度に向けての取組

○　地域の期待に応えられるようにこれからも双方向の交流を継続していく。

○　地域での子供たちの活動の機会に地域の協力をお願いしていく。